研究分野	普及・啓蒙	部名	漁場環境部
研究課題名	試験船体験航海事業		
予算区分	県単		
試験研究実施年度・研究期間	H.１４ ～ H.１８		
担当	佐藤 晋一		
協力・分担関係	なし		

〈目的〉

近年、小学生を対象に海洋や漁業に関する様々な体験学習を通して理解と興味を持たせ、科学する心を育み、また、将来の漁業及び関連産業の後継者育成と確保を図ることを目的として、試験船による体験航海の要望が増加してきている。

これらに対応するため、試験船東奥丸により体験航海を実施する。

〈事業の内容〉

・体験航海を行った試験船　東奥丸（140 トン）
・体験航海の回数　2 回

〈結果の概要・要約〉

1. 体験航海の実施日及び航海数

平成 15 年 7 月 25 日（２航海）及び 8 月 27 日（１航海）で、合計 2 日、3 航海を実施した（次ページの表参照）。

2. 体験航海の内容

体験航海またはいか釣り体験

3. 体験航海の参加者数

小人 55 名、大人 8 名　計 63 名

4. その他

・深浦地区では深浦マリンキッズの活動の一環として体験航海を実施した。当日は、2 班に分かれて、陸上での釣り体験と組み合わせて実施された。
・鰺ヶ沢地区ではいか釣り体験を行ったが、やや荒天の状態だったため、いか釣り機械の作動は短時間に終わった。

〈今後の問題点〉

・体験航海は試験船の運航スケジュールを調整して行っている関係上その年間回数には限りがある。これまでは西海岸地区でのみ行ってきたが、今後は他の海域にも広げていくことが考えられる。その際にも、体験航海の参加者をどのように決めるかが今後の課題となる。
・単なる体験航海だけでなく、いか釣りの体験もしたいという要望が増えてきたが、小学校低学年生は暗いところでの安全に不安がある場合がある。いかが釣れるといか釣り機が回っているにもかかわらずいかに飛びつくので、危険な場合がみられる。
・現在は大人用の救命胴衣を使用しているが、小人用の救命胴衣を整備していくことが求められる。

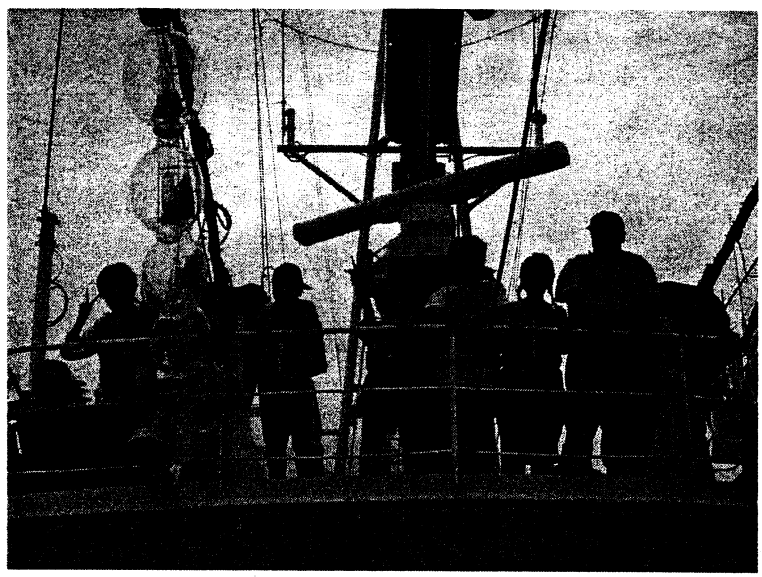
体験航海の実施状況（平成15年度）

No.	1	2	合　計
団体名	深浦マリンキッズ	鰺ヶ沢マリナーズ	
人数（小人）	41	14	55
人数（大人）	5	3	8
小　計	46	17	63
実施日	7月25日（金）10～15時	8月27日（水）17時から18時30分	
内容	体験航海	体験航海・イカ釣り体験	
摘要	2回に分けて実施。 1航海は1時間半程度。 深浦港出入港。 陸上待機班は釣り体験を実施。	夕方に実施。 荒天によりいか釣り機の作動は短時間に終わった。	

※1回の定員は大人で12名、小人で24名。



ブリッジに立ち、操船の説明を受ける。



ブリッジの上の甲板に立ち、高いところからの見学